

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	平成26年2月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム「いこいの広場」は、平成13年10月に開所しましたが、平成26年4月に新築移転致しました。以前の場所から徒歩1～2分と比較的近い場所にあります。今までと同様に、いこいの広場の特徴である「ゆっくりと楽しく過ごす」ことを念頭に利用者様・ご家族様・職員が仲良く過ごしています。

また昨年12月から、認知症対応型通所介護を行っており、今まで以上に毎日が明るく賑やかな雰囲気の中で生活しています。明るく開放的なリビングがあり皆様はそこから毎日桜島を見ています。

これからも利用者の皆様と共に様々な事に挑戦し毎日を楽しく過ごして行きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所の管理者は、地域の一員として自治会の会議に参加したり、認知症や福祉サービスについて講演し、地域に貢献している。
- ・「地域の交流を大切に」をモットーに、地域とのつながりを大事にして、地域住民が気軽に見学に見えたり、地域からボランティアの参加がある。
- ・食事は、楽しみのひとつであり、利用者から献立のリクエストも多く、野菜の植えつけから食卓に並ぶまで楽しくかかわっている。
- ・伝統的な食の作り方で、利用者は餅の丸め方、たけのこの湯がき方等、食に対し一人ひとりが自分の力を発揮できる場になっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員と管理者はお互い共通した意識をもち、事業所理念に基づき行動し実践している。	理念は、毎朝唱和し月1回の職員会議で理解を深めている。リビング内に掲示している理念を見て仕事に自分の行動を振り返りケアにあたっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地元の町内会に加入し地域の行事や夏祭りに参加し、町内会の会合や話し合いに出席している	管理者はホームと同じ地域に住居しており、町内会の会合などに参加したり、地域住民に高齢者介護・認知症・福祉サービス等について講演を行い、地域とのつながりを築いている。利用者は、地域の夏祭りに参加したり、事業所の行事に住民がボランティアで参加する等、お互いに行事を通しふれあいができている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の会合や話し合いに出席し「高齢者介護の話」や「認知症」「福祉サービス」の話を行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の中での意見など、外部からの声を真摯に受け止め、サービスの向上に繋がるように活かしている</p>	<p>定期的に会議を開催し、本人や家族・地域住民・行政担当者等が参加し、事業所活動や利用者の状況を報告している。報告内容について質問や提案もあり、活発な会議になっている。意見や提案は職員会議で話し合いサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>鹿児島市からの案内がある時以外にも、定期的に担当者との話をしたりと、協力関係を築けるように努力している</p>	<p>行政の担当者とは、関係書類提出時に出向いて相談したり、電話・メールのやり取りなどを通して連携を取っている。運営推進会議への参加や事業所への訪問等がある。市の研修にも積極的に参加し連携を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>禁止の対象になっている具体的な行為を全員が理解し取り組んでいる。常日頃から、玄関は開放し自由に往来が出来る様にしている</p>	<p>事業所の玄関に「身体拘束廃止宣言」の掲示があり訪問者に一目で分かる形になっている。委員会を年に1回開催し、職員全体で勉強会を行い理解を深めている。昼間に玄関の施錠はなく自由な生活を支援している。杖に可愛い鈴をつけ、全員で見守り安心できる生活に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や学習会などに参加している。また職員全体で虐待に対して常に注意を払い、防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員が制度が理解できるように学習し話し合いを持ち、支援ができる様にしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者様、ご家族様に十分な説明を行い、理解納得を頂いた上で契約を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望を表せる機会がある</p>	<p>利用者からは、日頃の暮らしの中で、思いを聞いたり、表情から組み取れるようにしている。利用者や家族は、運営推進会議に参加し要望を表せる機会を作っている。家族からは、面会や行事の時、努めて聞くようにして運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている</p>	<p>代表や管理者は業務に携わり一人ひとりの職員のことを理解し相談に乗っている。職員会議でも気軽に運営のことなど提案できる環境にあり、サービスに反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる。また近所の施設などに訪問し交流している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居した時は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をしたりと努めている</p>	<p>事業所に家族や親類・友人の訪問があったり、電話でのやり取りができています。外出で理美容院や行きつけの店に食事に出かけたり、お墓参りなど、家族と協力しながら、人や場との関係継続の支援をしています。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>いつでも相談に応じたり、こちらから定期的に連絡したりと、退所後の支援に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している	日常生活の中で、利用者の気になる言動や表情・しぐさ等は、職員で記録し話し合いをしている。かかわりの中で利用者にとれとなく聞いたり、家族の面会時に聞くなどして、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる</p>	<p>入居時に本人や家族・医師・職員が参加して介護計画を作成している。本人・家族の意向を確認しながら、サービスを検討している。個人記録や申し送りノートで状況を把握し、3ヶ月毎にモニタリングで見直し、状況変化に伴い現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一つのサービスにとらわれずにその時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している</p>	<p>利用者家族が希望するかかりつけ医の受診を家族の支援で行っている。病気の状態により月に1回～2回かかりつけ医の往診も行われている。看護師による薬の管理もできている。緊急時は看護師に報告し、必要時医師に連絡する仕組みになっている。常に看護師・医師がそばにおり利用者は、安心した医療・健康管理ができている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している</p>	<p>重度化や終末期に向けた支援は、事業所でできることを、十分に説明した上で家族の同意を得ている。家族・看護師・医師・職員が方針を共有し、確認しながら支援にあたっている。医師から職員への指導を受けている。職員は、苦痛を取り除くケアや寂しくないようにやさしい声かけなど最善の支援を心がけている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。</p>	<p>年2回、消防署の協力のもと避難訓練を実施している。安全に事業所の駐車場に避難できるようにしている。ホーム周辺住民に協力体制が築かれている。訓練後は、運営推進会議を開催し防災について消防署員が説明し地域全体で取り組む姿勢づくりをしている。災害時の水や食料等の備蓄は整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている。また職員間でも気を付けている	利用者の呼び名にも配慮し、誇りやプライバシーを傷つけないようにしている。時間ごとのトイレ誘導やズボンなどの着替えの時は、優しく語りかけている。入浴の順番を争う場合も、心を傷つけない話し方で対応している。言葉の使い方や人間関係の構築に力を入れている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思は尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみやおしゃれが出来るように、乳液や化粧水など準備し、ご自分ですることが困難な方には、職員と一緒に支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の中で、入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている	事業所の畑で青野菜を育て料理の準備から食事づくりまで楽しく一緒にしている。その日の献立は利用者の希望で決めている。誕生日食はリクエストで提供したり、お餅や団子作り・大根漬け・節分の巻き寿司等、季節を味わい楽しむ支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスなど、かかりつけの病院の栄養士にチェックして頂いている。また一人ひとりに応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後就寝前など、口腔ケアを行っている、また職員が一部介助を行い支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合わせ、なるべくトイレで排泄していただける様に支援している。また失敗しても自尊心を傷つけないように声を支援している	トイレでの排泄を目標にしている。利用者に合わせて、適宜誘導しトイレ排泄が習慣化するように取り組んでいる。排泄の失敗にもさりげない声かけで誘導し対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、健康体操を行い体を動かしたり、食物繊維が多い食事を提供し取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望にあわせながら、ゆったりと入浴できるように支援している。入浴日等は特に決めずに行っている	毎日入浴できる準備ができている。一番風呂を希望する人が数人の時もある。職員が仲介に入り順番を待つことができたり納得して待つこともできている。入浴が楽しみのひとつになるように香りのする入浴剤を使って支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して就寝できるように、声かけし、騒音や雑音が無いように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬の副作用など理解している。また忘れてしまった時でも、一人ひとりファイルがあるので、その都度確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人様の、得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとり役割を持って頂き支援している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に沿って戸外に行けるように支援している。また遠方へはご家族の協力を得ながら、入居者様の希望を尊重し出かけている</p>	<p>日常的に事業所周辺の散歩や買い物に出かけている。計画を立てて地域の行事やドライブ・花見・外食等、戸外に出かける支援をしている。本人の希望で家族と一緒に外出できるように努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理が出来る入居者様には小額ではあるが管理していただいている、買い物際にはそのお金を支払いに使って頂き支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも連絡が出来るように、電話の子機を広間に備えている、ご自分でボタンが押せない方は、職員がボタンを押し支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に居心地よく過ごして頂ける様に、明かりや、温度、湿度に気をつけている。また野菜畑から収穫し季節を感じて頂いている	共用空間は桜島の眺めも良く日光もよく入り明るい。温度や湿度に配慮されている。利用者は思い思いの椅子やソファで体操をしたり、レクリエーションをして楽しみ、居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、利用者の皆様が自由に過ごして頂ける様にソファやテーブルを設置している。皆様自由に行き来されている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、なるべく本人様が使用していたものを、入所される時点で持って来て頂き、居心地良く過ごして頂ける様に配慮している	本人が家族と相談し、使い慣れているタンスや布団・テレビ等を持ち込み、写真や位牌などをそばに置き、利用者が安心して暮らしやすいように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の手すりや、トイレ・浴室の案内表示など、なるべくご自分で行けるように工夫している。また声かけや付き添いながら自立できるように支援している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない